

2023 年度事業報告書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 ISAPH

1. 実施事業の概要

2023 年度の事業は、前年度に引き続き、国際協力事業（東南アジアのラオスにおける母子保健・栄養事業、アフリカのマラウイにおける母子栄養改善事業）を社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院と協働し、団体独自の事業として、教育・研修事業、調査・研究事業に取り組んだ。

国際協力事業は、ラオス中部カムアン県サイブートン郡にて、2020 年 10 月にラオス政府と了解覚書（MOU）を交わした地域保健事業を継続した。当該 MOU は、2023 年 9 月に終了予定ではあったが、カウンターパートからの要請を受け、2024 年 9 月まで延長した。2020 年 12 月から開始した JICA 草の根技術協力事業（農村部住民の食糧事情向上を目指した昆虫養殖技術普及事業）は、2023 年 12 月に終了した。マラウイでのプロジェクトは 2022 年度に続いて、JICA 草の根技術協力事業の実施のための基盤整備に努めた。対象地域および活動内容は、ムジンバ県マニャムラヘルスセンター地域にて引き続き地域の栄養改善に取り組み、5 歳未満児の栄養不良解決のために活動した。

教育・研修事業では、1 大学の現地スタディツアーを実施。そのほかに、インターンや出前講義など例年通りの活動を継続した。

昨年から事業化した調査・研究事業では、企業からの調査案件の受託や国内の調査などを実施することができた。ISAPH がこれまでに培った課題発見能力を存分に活用できるように、今後、事業を拡大する。

2 事業計画の詳細

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施期間 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	受益対象者の 範囲と人数	予算額 (千円)
保健・医療分野の 国際協力事業(1) 「ラオス国母子 保健向上プロジ ェクト(フェーズ 2)」	<p>◆母子保健に関する住民への啓 発活動と妊産婦と乳幼児への健 康支援 ラオス中部のカムアン県サイ ブートン郡にて、母と子の健康 を守るため、①教育啓発活動、② 地域ボランティアの育成、③ラ オス政府と協力した母子保健サ ービスの提供を行う。今年度か ら、旧 3 村に合わせて新 10 村も 対象として地域を拡大する。</p> <p>◆村のリボルビングファンド・ システム再構築支援 活動地域における住民による 保健活動の強化のため、村に既 存する基金をリボルビングファ ンドとして機能するよう支援し</p>	(A) 2020 年 10 月～ 2024 年 9 月 (B) ラオス国カム アン県サイブ ートン郡 (C) 4 名	サイブートン 郡 45 村人口： 約 27,000 人 対象①旧 3 村： 約 2,700 人 対象②新 10 村： 約 2,500 人	4,960

	てきた。2023 年度は、本システムを村に移譲することを目標に取り組んだ。			
保健・医療分野の国際協力事業(2) 「ラオス国昆虫養殖技術普及事業」	<p>◆昆虫養殖技術普及支援</p> <p>JICA 草の根技術協力事業として実施している本活動は、これまでに農村部で養殖技術の普及を続けてきた。2023 年 11 月の時点で、合計 60 世帯以上の昆虫養殖小規模農家の育成を達成できた。</p> <p>現地行政（商工局）より、養殖された昆虫を地域の「特産品」として生産・販売を拡大したいとの要請を受け、来年度も本事業を継続させていく。</p>	<p>(A) 2020 年 12 月～ 2023 年 12 月</p> <p>(B)ラオス国カムアン県サイブートン郡(旧 3 村)</p> <p>(C)3 名</p>	3 村人口： 約 2,700 人	3,359
保健・医療分野の国際協力事業(3) 「マラウイ国母と子の地域栄養改善事業」	<p>◆母と子の栄養改善活動</p> <p>雪の聖母会聖マリア病院と協力し、ムジンバ県マニャムラヘルスセンター地域において、村人を中心とした地域主体の栄養改善活動を実施する。また次の大型事業に発展させるため、関係者とのネットワーク構築、地域の基盤づくりに取り組んだ。</p> <p>◆保健ワーカーの活動拠点建設支援</p> <p>現地のニーズに応じて、寄付金などを活用して保健ワーカーの活動拠点（建物）を建設する活動。2023 年度は特に依頼がなく、建設はなかった。</p>	<p>(A) 2022 年 4 月～ 2023 年 3 月</p> <p>(B) マラウイ国 ムジンバ県</p> <p>(C)10 名</p>	マニャムラ保健センター管轄地域人口： 約 27,000 人のうち一部の地域	117
保健・医療分野の教育・研修事業(1)	<p>◆現地スタディツアー</p> <p>1 大学(新規)から依頼を受け、ラオスでのスタディツアーを実施した。</p> <p>◆インターン受け入れ</p> <p>邦人 3 名、外国人（留学生）1 名に対してインターン受け入れを行った。うち 1 名はラオス事務所でインターンを実施したが</p>	<p>(A) 2023 年 9 月</p> <p>(B) ラオス</p> <p>(C) 1 名</p> <p>(A) 随時</p> <p>(B) 東京</p>	16 名 ※教員含む	949
			大学生・大学院生 4 名	

	健康上の理由により 1 週間で帰国となった。	ラオス (C) 2 名		
	◆本邦研修 ラオスのカウンターパート (2 名) を対象として、8 泊 9 日の本邦研修を実施。現地の保健医療の向上に資する、本邦の保健医療システムについて学ぶ機会を提供した。	(A) 2024 年 1 月 (B) 福岡・名古屋 (C) 1 名	2 名	
	◆出前講座 小中校・大学において、国際保健医療協力や海外での草の根活動の実際について、講義を行った。	(A) 随時 (B) オンライン (C) 3 名	大学 5 校 小学校 3 校	
保健・医療分野の調査・研究事業 (1)	◆マラウイにおける長崎大学との共同研究事業 マラウイの子どもの栄養不良の背景となる、住民の「食物に対する価値観、考え方」について文化人類学的視点から探求する。 現地住民に対してパイルソートやフォトボイス、質的インタビューを実施した。	(A) 2022 年 4 月～ 2025 年 3 月 (B) マラウイ国 ムジンバ県 (C) 3 名	調査参加者： 約 100 名	4, 545
	◆在留外国人のヘルスケア・アクセスに関する調査 福岡県の 8 万人以上という在留外国人の医療機関へのアクセスに関する課題の調査。 在留外国人と医療機関の間にある NPO/NGO/CSO を対象として、地域の担い手が在留外国人のヘルスケア・アクセスにどのような役割を果たしているかを調べる。2023 年度は、アンケートおよびインタビューによる調査を行った。	(A) 2023 年 4 月～ 2024 年 3 月 (B) 福岡県全域 (C) 1 名	NPO/NGO/CSO 約 500 団体/個人	

	<p>◆国際協力事業に関する現地調査請負</p> <p>企業が実施する国際協力事業に関連する現地調査業務を請け負った。2023年度は1団体より委託（タイ・ラオスの調査）があった。</p>	随時	随時	
--	---	----	----	--

2023年度収支決算報告

項目	金額	内容
前年度繰越金	19,269,786	
収入	14,430,512	
収入内訳	904,000	会費
	307,732	寄付金
	4,922,300	助成金・補助金
	7,796,723	事業収益(業務委託等)
	499,757	その他
支出	14,965,789	
支出内訳	8,319,954	国際協力事業(ラオス)
	117,999	国際協力事業(マラウイ)
	948,899	教育・研修事業
	4,545,484	調査・研究事業
	891,483	管理部門
	141,970	その他(雑費・法人税等)
収支差	△ 535,277	
2023年度末期預金額	18,734,509	

2024年度予算

項目	金額	内容
前年度繰越金	18,734,509	
収入	11,200,000	
収入内訳	900,000	会費
	300,000	寄付金
	7,200,000	助成金・補助金
	2,500,000	事業収益(業務委託等)
	300,000	雑収入
支出	11,840,000	
支出内訳	6,550,000	国際協力事業(ラオス)
	2,190,000	国際協力事業(マラウイ)
	400,000	教育・研修事業
	1,500,000	調査・研究事業
	1,000,000	管理部門
	200,000	その他(雑費・法人税等)
収支差	△ 640,000	
2024年度末期残高	18,094,509	

貸借対照表
2024年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	18,831,659		
短期貸付金	49,246		
立替金	0		
未収入金	4,500		
流動資産合計		18,956,502	
2 固定資産			
有形固定資産			
車両運搬具	7		
固定資産合計		7	
資産合計			18,956,509
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	78,000		
前受金	3,000		
未払法人税	141,000		
流動負債合計		222,000	
負債合計			222,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		19,269,786	
当期正味財産増減額		-535,277	
正味財産合計			18,734,509
負債及び正味財産合計			18,956,509